Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書関係

１．資金期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定		6,627,231千円
定期預金等	△	1,000,000千円
資金期末残高		5,627,231千円

２．重要な非資金取引

⑴　ファイナンス・リースによる資産の取得

工具器具備品	23,840千円
医療用工具器具備品	155,100千円
合計	178,940千円

⑵　寄附物品の受入

工具器具備品	93,245千円
建物附属設備	16,354千円
図書	1,481千円
合計	111,081千円

Ⅴ．資本剰余金を減額したコスト等に関する注記関係

退職給付引当増加相当額のうち△48,279千円は、国または地方公共団体からの出向職員に係るものであります。

Ⅵ．国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコストに係る注記

国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

１　業務費用			
⑴　損益計算書上の費用		40,454,734千円	
⑵　（控除）自己収入等		△　29,917,643千円	
業務費用合計			10,537,090千円
２　資本剰余金を減額したコスト等			1,170,546千円
３　機会費用			
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用		723千円	
政府出資の機会費用		276,206千円	276,929千円
４　（控除）国庫納付額			—千円
５　国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト			11,984,566千円

国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコストの注記における機会費用の計上方法

⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。

⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付政府保証債の令和７年３月末利回りを参考に1.485％で計算しております。

（減損に係る注記）

１．減損を認識した固定資産

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：千円）

用途	種類	場所	帳簿価額（減損前）	帳簿価額（減損後）
戸賀臨海実習所用地	土地	秋田県男鹿市	2,720	2,066
理工学部２号館	建物	秋田県秋田市	14,434	5,928
糠塚宿舎４号棟	建物	秋田県秋田市	19,958	18,785

⑵　減損の認識に至った経緯

戸賀臨海実習所用地については、使用しないという決定を行ったため減損を認識しております。

理工学部２号館については、躯体を残し全面改修を行っているため、躯体以外の部分については減損を認識しております。

糠塚宿舎４号館については、老朽化が進んでいる未改修の居室部分を入居不可としているため減損を認識しております。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産毎の内訳

（単位：千円）

用途	種類	減損額のうち損益計算書に計上した金額	減損額のうち損益計算書に計上していない金額
戸賀臨海実習所用地	土地	—	654
理工学部２号館	建物	555	7,950
糠塚宿舎４号棟	建物	1,172	—

⑷　回収可能サービス価額の算定方法の概要

戸賀臨海実習所用地については、正味売却価額として、比準する土地の固定資産評価額を基に算定しております。

理工学部２号館については、工事完了後除却となる金額を基に算定しております。

糠塚宿舎４号館については、使用価値相当額により算出しておりますが、減価償却後再調達価額を算出することが困難であるため、当該資産の帳簿価額に使用が想定されていない部分以外の部分の割合を乗じて算出しております。

２．認められた減損の兆候の概要及び減損を認識しない根拠

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：千円）

用途	種類	場所	帳簿価額
金砂町宿舎用地	土地	秋田県秋田市	18,900